

## 早稲田大学 教育学部 地理 講評

|        |     |
|--------|-----|
| 出題形式   | 記述式 |
| 試験時間   | 60分 |
| 特徴・その他 |     |

## 〔大問別講評〕

| 番号 | 出題内容        | コメント                                                                                                                                                                        | 難易度 |
|----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| Ⅰ  | 世界と日本の湖沼    | 問 1 c のローレンタイドは聞きなれない用語であるが、北米大陸北部に存在した世界最大級の氷床で、その消失に伴い、五大湖が形成された。問 2 のリチウムは問題文の充電式電池から推測できる。問 6 の汽水の漢字を間違えないように。                                                          | 標準  |
| Ⅱ  | 船舶の貨物輸送     | 問 1 (2) のハブ港は文中の航空輸送における空港がヒントになる。問 2 は地図帳で地形名や主要都市名を学習していれば難なく解答できる。問 3・問 4 のような統計資料は世界国勢図会やデータブックからの出題が多いので注意。問 3 の B が輸送船、C がコンテナ船、D が一般貨物船、また、問 4 の B はシンガポール、C は深圳である。 | 標準  |
| Ⅲ  | 地中海に面した都市・国 | 問 1 の 4 はマルタの首都バレッタ、5 はトルコのアンタルヤである。小国マルタの内容はやや難であった。また、トルコである判断は昨年のウクライナ問題などから推測する。問 7 の N A T O、E U 加盟国などは必ず理解しておく必要がある。                                                  | やや難 |
| Ⅳ  | 中部アメリカ      | 問 2 b のハイチ地震は 10 数年前の地震で受験生には記憶がない出来事で難である。また、h のツーリズムの種類はやや難である。ヘリテージは遺産の意味から推測。                                                                                           | 標準  |

## 〔総合コメント〕

例年通り地誌中心の問題である。各国の地域、国を通し自然・産業・環境など系統地理も踏まえた勉強が必要である。また、時事的な要素や統計資料からの出題もあるため、地図帳や統計資料を活用し、幅広い学習を要する。早稲田大学の地理は選択問題とともに用語・地名の記述問題も多いため、丸暗記ではなく、用語・地名が示す事実の背景を理解し学習すること。